

SDGs（持続可能な開発目標）とは？

SDGsは、2000年に採択されたMDGs（国連ミレニアム開発目標）が2015年に終了するのに伴い、2016年からの開発目標を定めたものです。防災やエネルギー、経済格差や若者の失業など、「新しい」課題もふくまれます。その特徴は以下の2つです。

(1) 二本柱＝「極度の貧困解消」＋「持続可能な世界」の実現

(2) ユニバーサリティ＝日本を含む先進国、途上国等全ての国が達成する目標

2000-2015 MDGs（ミレニアム開発目標）

先進国が、途上国の問題（貧困・飢餓半減、教育、ジェンダー、保健、環境）に対して支援

1992 地球サミット

2012 リオ+20

持続可能な発展のため世界各国が協力

若者失業

ジェンダー

経済格差

高齢化

エネルギー

生物多様性

自然災害

様々な「慢性的危機」の増加！
「持続不能」な現代世界の問題に対処！

SDGs

極度の貧困の解消

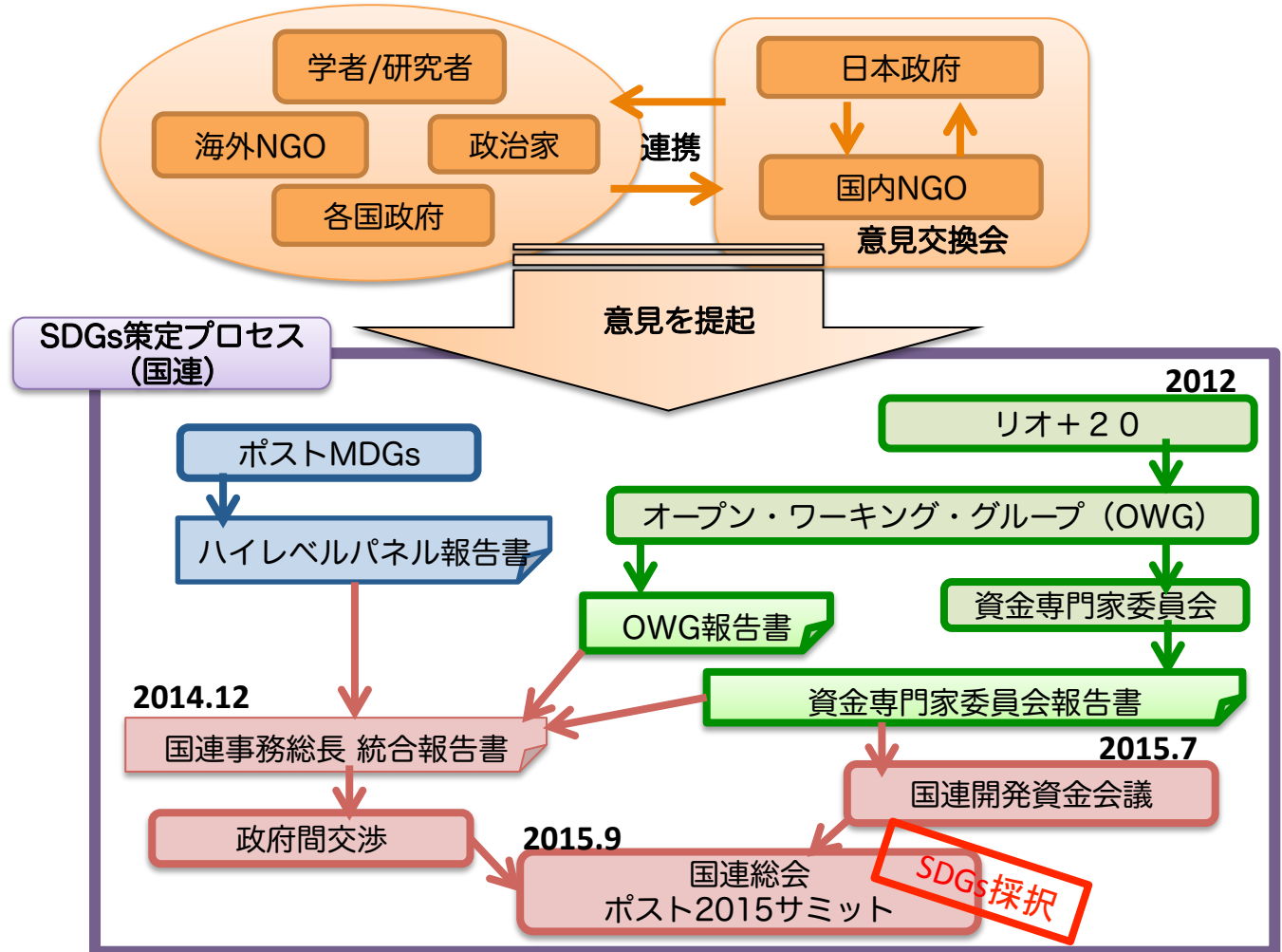
- あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
- 飢餓を終わらせ、栄養を改善し、持続可能な農業を推進する
- あらゆる年齢の全ての人の健康な生活を確保し、福祉を推進する
- 全ての人への衡平な質の高い教育と生涯学習の機会を提供する。
- 世界中で女性と少女を力づけ(empower)、ジェンダー平等を実現する
- 全ての人に持続可能な水の使用と衛生を保障する

「持続可能な」世界へ

- 8 包摂的で持続可能な経済成長を促進し、すべての人への完全で生産的な雇用とディーセント・ワーク（適切な雇用）を提供する
- 10 国内及び国家間の不平等を減少させる
- 11 都市と人間居住を包摂的で安全かつ持続可能なものにする
- 13 気候変動とその影響を軽減するための緊急対策を講じる
- 17 実施手段と持続可能な開発への地球規模のパートナーシップを強化する

- 7 全ての人の、安価かつ信頼できる持続可能な現代的エネルギーへのアクセスを保障する。
- 9 レジリエントなインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進、イノベーションの拡大を図る。
- 12 生産と消費のパターンを持続可能なものにすることを促進する。
- 14 海、大洋と海洋資源を保全し、持続可能な利用を促進する。
- 15 陸域生態系を保護し、持続可能な利用を促進し、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地の劣化、生物多様性の喪失を止める。
- 16 平和的で包摂的な社会とすべての人の司法へのアクセスを達成し、あらゆるレベルで効率的で説明責任ある能力の高い行政機構を実現する。

SDGsは、各国政府、国連機関、研究者、NGO、政治家など様々なアクターが共同で、国連プロセスに従って作っています。



SDGsは、開発途上国の課題のみならず、日本国内における様々な課題をふくみます。SDGs達成にむけて、開発途上国への支援と、国内課題の双方に取り組むことが大切です。そのため、民間企業、学界、NGOとの連携が、今後ますます重要になります。

5. 女性の権利

人身売買・暴力の排除
経済的資源への権利
意思決定への参加

7. エネルギー

再生可能エネルギー拡大
エネルギー効率の改善
クリーンエネルギー投資

8. しごとづくり

児童労働を完全になくす
完全雇用、良い仕事
持続可能な観光業

10. 格差是正

所得下位40%の所得増大
再分配政策の拡大
金融セクター規制強化

11. 防災減災

水害死者数大幅削減
災害リスク管理
大気汚染・廃棄物問題

12. 消費・生産

食品廃棄物削減
化学物質管理強化
持続可能な公共調達